

巻頭

農協役員より組合員の皆様へご挨拶

P3 いまかねトピックス

P5 今後の農産物管理（営農技術情報）

「今金男しゃく」すくすく成長中！

役員改選にあたり皆様へご挨拶申し上げます



専務理事
内ヶ島道良（再任）

平成24年に専務理事に就任し、本年より2期目を務めさせて頂きます。農業・農協を取り巻く情勢は現在大きな節目にきており批判に晒される事もあります。が、農協が求められてきた、果たしてきた役割は決して間違っておらず誇りの持てるものです。我が町において農業は地域を支える産業として、今後も揺るぎのないものであり、その振興に対しては農協として強力なリーダーシップと強力な行政への働きかけをもって臨んで参ります。今後も協同の理念のもと事業運営して参りますので、組合員皆様の更なる結束をお願い致します。



常務理事
大場倫夫（新任）

この度の役員改選において、前常務にかわり新しく常務理事に就任致しました。昭和56年に職員として勤務させて頂き34年になります。営農部門では4年目から数年販売課に勤務しましたが、平成に入ってからほとんどが管理部門で組合員皆様とは直接接する機会が少なかったと思います。今日、TTP交渉ではアメリカにおけるTTPA法案可決の動き、国内では農協法改正等今までにない環境状態にあります。農の原点を見据え「組合員個々の顔の見える農協、小回りのきく農協」を目指して参りたく考えておりますので、宜しくお願いします。



理事
黒須隆之（再任）

今年から三期目に入り役員としては中堅の立場となりより一層のプレッシャーを感じています。TTP交渉も終盤を迎えようとしています。さらには今回政府が打ち出した農協改革と、農業・農協を取り巻く状況は先行き不透明ではありますが、我々が単独農協を選択してから三年たちました。これから若い後継者が安心して営農できる環境作りを組合員皆様の御意見も頂きながら役員の皆さんと一緒に取り組まなければならないと思っています。



理事
山崎 仁（再任）

農協改革・TTP等私たち農業者・農協を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。農業協同組合設立の原点である資材供給・農産物販売・営農経営支援など各種業務の強化に努めると同時に、更に地域に根ざし、求められ、競争力あるJAを目指し努力したいと考えています。



理事
仁木 明（再任）

平成21年より理事に選任され7年目を迎える事となりました。今年度は、第一委員会の委員長を仰せ付けられ、今まで以上に、責任の重大さを感じております。農協改革、TTP問題、新たな農業政策等と、厳しい時代の中、農業情勢の変革に対応していくかなければなりません。今、金町の基幹産業でもあり、町の経済を担って行く為にも、農協として個々の経営と生活向上、地域農業振興を図る事が重要であります。今後もより一層のご指導、ご意見を賜りまして、農協運営に反映し、健全な農協運営と組合員皆様の営農基盤強化に向けて事業展開して参る所存です。今後とも宜しくお願い致します。



理事
境田哲哉（再任）

私は今年度総会において、2期目の選任をされ、理事として4年目になります。が、まだまだ未熟者で勉強不足ですけれども今後は組合員の皆さんの話を聞かせて頂きながら、農協が出来る事を考え、今金町農協が単独農協として1年でも長く続けていける様に頑張っていきたいと思っております。



理事
内ヶ島祐一（新任）

このたび農協理事の就任にあたり、職責の重さを身を持って感じている次第です。農業を取り巻く多くの課題がありますが、農家戸数の減少・労働力の不足・耕作放棄地発生懸念等は特に課題であると考えています。役員の皆様方と一つずつ解決し、組合員の皆様方が安心して楽しく農業経営を行える姿を目指したいと思っていますので、皆様のご支援を宜しくお願いします。



理事
水口 仁（新任）

農業・農協を取り巻く情勢は一段と厳しさを増す中、農協の舵取りの一端を担う事となり、その責務の重大さを痛感しています。もとよりその器ではなく、理事としての重責を担えるかどうか不安ではあります。先輩理事や他の役職員、組合員の皆様のご指導、ご支援を頂きながら、微力ではありますが組合員の皆様方のもとより、地域の方々にも信頼される農協を目指していきたいと思っておりますのでご指導宜しくお願い致します。



理事
成田正春（新任）

4月3日付で農協理事に就任しました。就農しましたのが約32年前。農業が楽しくこの世界に飛び込んだ当時は、まさか自分が農協の役員になるとは思っていませんでした。役職を拝命した事を大変光栄に感じると共に、その責任の重大さに身の引き締まる思いがします。先輩方や皆様方が培わした『志』を大切に全力で臨んで行きたいと思えます。まだ若輩者です。今後ともお力添えを賜ります様何卒宜しくお願い申し上げます。



代表監事
村本正義（再任）

4月の総会役員改選で監事に再任され平成5年3月より23年目最年長者となり、又責任の重さを感じながら3年間組合員の皆様にお世話になりますので宜しくお願い致します。監事は総会で承認されました事業計画が計画通り執行されているか3ヶ月毎に年4回の監査、また年2回経済事業の棚卸監査が主な職務であり、組合員の皆様の目線で運営上不祥事や事故が発生しないようコンプライアンス体制が守れているか注意し頑張ります。



監事
上野義則（再任）

今回の改選で2期目となります。監事に選任された上野です。農業を取り巻く情勢は依然厳しい状況ですが、合併せず単独で農協運営を決断したわけですから、それに沿った事業展開が必要だと思えます。北海道農業は冷害との戦いだったようです。最近はそのような事もなく豊作基調でできておりますが、それに安堵するのではなく、時代に合わせた事業が必要で、若し人が考へる、斬新的な農業を応援できればと考えています。農協が地域を守り魅力のある農業経営で組合員の選抜が良かったといえる農協運営に少しでも後押しができる様頑張ります。



員外監事
小田島輝志（新任）

この度、第47回通常総会において、員外監事に就任する事になりました。先般、新任監事研修を終え、農協法と監事の職務、監事監査の要点、財務管理の要点等、監事としての職務の概要を学んで参りましたが、私にとっては初めての内容ばかりでした。今後は先輩理事・監事等の役員皆様に御指導、助言等を頂きながら少しでも早く職務を全う出来る様、努力して参りますので宜しくお願い申し上げます。

※小田島親守代表理事組合長については、先月号のインタビューをもってご挨拶に代えさせていただきます。

軟白長ネギ 目揃え会を実施



「今金軟白長ネギ」の目揃えが6月12日行われました。今年、新物出荷が5月21日から始まっていますが、出荷基準などをあらためて確認するため毎年行われています。当日は出荷先市場の方々にもお集まり頂き意見を交わしながら、消費者に喜ばれる商品出荷に向けて目揃えが行われました。

種子馬鈴薯防疫補助員に4名委嘱



平成27年度種子馬鈴薯防疫補助員として上田富男さん、夕下秋雄さん、油家正人さん、津村好見さんの4名が農林水産省横浜植物防疫所長より委嘱され、6月11日にJA今金町で委嘱状の授与式が行われました。全筆合格を目指し、健全な種いも生産のために補助員の皆さんに御指導頂きます。

甘い！美味！ミニトマト出荷始まる！！



6月22日、昨年より4日早くミニトマトの出荷が始まりました。今回出荷の皮切りとなった生産者は神丘北地区の楠原隆紀さん。初出荷はすべて規格で、価格は1ケース三千円となりました。平成元年に当町で栽培が始まったミニトマトですが、昨年販売額がついに三億円を突破しました。施設野菜の牽引役として、更なる面積・販売額アップが期待されます。

良質な馬鈴薯生産のために



ほ場に入り、生育状況を確認する生産者

6月24日、早出馬鈴薯振興会（会長・斉藤孝俊さん）が生産者・JA・普及センター・町と協力し生育検査を実施しました。この検査は毎年継続的に行われており、ジャガイモシストセンチュウ・ウイルス株・黒あざ株等の発生状況の有無を確認し、良質な今金男爵を栽培するために欠かせない取組となっています。

新世紀の担い手たち！

今金町農協青年部歓迎会



前左より 倉地亮介さん、黒沢正雄さん、須田佑太さん、仁木宏直さん、村上智秋さん、南川栄一さん、尾野忍さん
※平原大輔さんは都合により欠席

6月12日、今金町農協青年部の歓迎会が行われました。当日は32名の部員が出席し、永きにわたり青年部活動に尽力された先輩方には感謝の言葉を、新入部員には歓迎と喜びの言葉が贈られました。本年第58回目の総会を迎える青年部。今後も地域のリーダーを育てる場として、また学習・交流を深める場として、「青年部にか出来ない事」を通して楽しんで活動していきます！

《勇退者》※敬称略

村上智秋

南川栄一

尾野忍

平原大輔

《新入部員》

※敬称略、カッコ内は経営主

倉地亮介（平野俊春）

黒沢正雄（黒沢元）

須田佑太（須田一由）

仁木宏直（仁木明）

平成27年度 部会・振興会等一覧

部会・振興会名	事務局	会長	副会長	副会長	副会長	会計	監事	監事
今金町稲作部会	山口 徹也	吉本 辰也	下田屋 直樹	平原 大輔		伊藤 元正	本塚 直行	樋口 洋一
今金町水稻直播研究会	工藤 耕治	石川 大輔	上野 慎悟			沢口 忠大	讃岐 幹夫	吉本 辰也
今金町畑作部会	岡野 孝	川崎 敏彦	須藤 孝政	小西 規夫	黒須 寛之	伊藤 勇矢	西 政明	鷺野 幸代
今金町種子馬鈴薯委員会	山内 拓弥	伊藤 悟志	村瀬 一人			日置 勇馬	夕下 富男	西 勝幸
今金町早出馬鈴薯振興会	岡野 孝	斉藤 孝俊	成田 正春	笹森 芳弘		上野 慎悟	矢野 栄	田畑 友明
今金町麦作振興会	山口 徹也	大谷 和明	宮本 翼			竹内 章郎	土橋 龍二	植村 繁嗣
檜山北部広域大根部会	山内 拓弥	南川 博	内ヶ島 寛良	(北檜山) 大東 貢之		藤倉 英樹	須藤 孝政	村上 民夫
檜山北部広域人参部会	山内 拓弥	天井 秀光	大谷 和明			上村 朋慶	村上 隆文	(若松) 馬場 文宣
檜山北部広域小かぶ部会	菅野 康弘	村瀬 好亮	(若松) 大堀 賢二			日置 誠	(北檜山) 江口 君夫	
檜山北部広域ブロッコリー部会	菅野 康弘	安藤 拓也	(北檜山) 工藤 豊	(若松) 馬場文宣 (若松)		(今金) 伊藤 勇矢	(若松) 本多 浩	(北檜山) 大脇 弘行
檜山北部広域ほうれん草部会	菅野 康弘	(北檜山) 長井 克宣	(北檜山) 小林 光明	中村 正明			(北檜山) 大原 正臣	(若松) 近藤 弘子
今金町ブロッコリー生産組合	菅野 康弘	西 政明	広田 建一			安藤 拓也	水野 利孝	水野 哲
今金町軟白長ネギ振興会	佐藤 孝弘	松永 敏和				牧野 司		
今金町ミニトマト振興会	田畑 大郁	川上 等	沢口 忠大	谷崎 敏之		藤倉 雅人	南川 栄一	伊藤 司
今金町椎茸振興会	菅野 康弘	上村 忠	三津橋 信武				ワークショップ今金	
今金町アスパラ生産組合	工藤 耕治	日置 勇馬	仁木 明	ひりかファーム (末藤 春彗)		岸 徹也	天井 幸雄	小池 弦徒
今金町農協女性部	堀良 道子	鈴木 幸子	津村 明美	仁木 由喜江	笹森 博子	仁木 由喜江	樋口 喜美枝	伊藤 春美
今金町農協青年部	佐藤 孝弘	伊藤 司	苅屋 泰裕	坂本 好史	土橋 龍二	山本 拓人	仁木 儀一	伊藤 祐樹
今金町酪農部会	内ヶ島雅明	伊藤 幸作	丸山 昇祐	山崎 良介		幅口 博隆	山本 貞一	矢内 義則
今金町和牛生産改良組合	葛井 史紘	佐藤 弘一	村瀬 重一	村上 寛明		上村 和宏	諸戸 邦吉	苅屋 泰裕

檜山農業改良普及センター檜山北部支所より

営農情報7月号

()は、6月15日現在の生育遅速日数

	今後の農作物管理		今後の農作物管理
水稲	水稲(早1日) ◎7月は勝負の月です。冷害危険期、穂孕み、出穂期へと大事な時期を適切な水管理で稲穂をしっかり守り抜くことが肝要。 ・冷害危険期の水深灌漑徹底・・・幼穂形成期に達したら前歴期間に(約10日間)、水深は前期5→後期10cmとします。冷害危険期には10→最大20cmにします。一斉に入水すると水が足りなくなる状況が想定されますので、前歴期間から計画的な入水・水深保持に努め、平均水温20℃以上を目標に(25℃ベスト)日中止水を徹底しましょう。 ・危険期終了後から出穂までの水管理・・・止葉が展開し、葉耳間長+5cmの葉が8割に達したら危険期終了です。速やかに中干しを行う。出穂が始まったら浅水に戻し開花・受精を促しましょう。・・・開花終了まで ・発生予察の励行で的確な病害虫防除を! いもち病・・・「BLASTAX情報」に留意し、早期発見と防除に努めましょう。特に葉色が濃く風通しの悪い刈場などに注意。 ・カメムシ類・・・水稲の出穂とともに小麦・えん麦は場や雑草地から水田に移動。すくい取りでカメムシを確認し、出穂期以降の防除に備えましょう。乳熟期が最重点。・・・1127指導参考:効果が高く残効性の長い薬剤(キラップ、スタークル等)の場合は出穂期防除を省略し出穂後7～10日の1回防除で対応可能。 注)苗箱処理剤のみでは、被害を防げません!	畜産	生育(牧草 早 4日、飼コーン ± 0日) ・夏場の飼養管理 飼槽を清潔に、新鮮なエサを1日2回以上給与し、掃き寄せ回数を増やすなど乾物摂取量の確保に努めましょう。 乳成分・生菌・体細胞数の変化から、衛生対策や飼料の内容を改善しましょう。 初生子牛の下痢対策のため、分娩前の牛房内の消毒に心がけるとともに、畜舎内の暑熱対策を行いましょう。 ・2番草の施肥と刈取り 肥料や尿などで2番草の施肥を行いましょう。 チモシー・主体草地で1番草刈取り後55日、オーチャードグラス主体草地で45日を目標として2番草を刈取りましょう。 ・繁殖管理について 暑熱ストレスは繁殖性を低下させる大きな要因なので、暑熱対策を徹底しましょう。 農作業の繁忙期であることから発情の見逃しが懸念されます。発情行動のしやすい環境づくりを行い、観察回数を増やして、確実な発情発見に努めましょう。
畑作	秋まき小麦(早 2日) ・開花も終わり、子実の充実時期に入っています。 ・7月上旬に穂水分調査を実施し、成熟期を判定する予定です。収穫時期については今後、JA今金町からのFAX情報を参考にしてください。 ・注意深く畑を観察し、適期刈取りに努めて良質麦を目指しましょう。 馬鈴しょ(露地(早 9日)X早出し(早 8日))共通 ・疫病は20℃前後の多湿条件で発生します。発生前の予防防除が効果的です。もし、疫病の発生が見られた場合は、畑の蔓延を防ぐためにも雨前に防除を行いましょう。 ・晴天で気温も高く推移した場合、アブラムシの発生も予想されます。発生を確認した場合は、早めに防除を行いましょう。 ・軟腐病は倒伏や損傷により被害が多発するので、注意して防除を行いましょう。 馬鈴しょ(早出し) ・あと1か月ほどで収穫時期を迎えます。 ・早出し馬鈴しょの調査結果をもとに収穫の計画を立てましょう。 豆腐(大豆(早 2日)) ・最終中耕は開花前までに終わらせましょう。開花期に中耕・除草を行うと、根の切断により水分の一時的な欠乏を生じ、落花・落莢の原因となります。 ・排水不良地は茎疫病が発生していないか注意して観察しましょう。過去に発生した場合は特に要注意です。しっかりと観察して蔓延を防ぎましょう。 ・アブラムシに注意!高密度で吸汁加害されたものは、生育抑制の原因になります。播種時に種子塗沫剤を施していない畑(種子塗沫しているとは抑制できる)はよく観察し、防除に努めましょう。 ・ほ場に野生生えいもを残していませんか? 野生生えいもの目立つ畑がみられます。野生生えいもは雑草化したり、病気の発生源にもなります。 種子馬鈴しょを作付けしている・していないに関わらず、徹底的に野生生えいもを除去しましょう。 てんさい(早 3日) ・ヨトウムシ(ヨトウムシ)の発生に注意! 幼虫の若齢期に防除効果が高いので、ほ場をよく観察し、食害の程度を確認し防除の必要性を検討しましょう。 要防除水準:被害株率50%以上で即時防除 ・褐斑病に気をつけましょう。本病は高温・多湿条件にて発生が広がります。ほ場をよく観察して防除しましょう。	園芸	フロッキー ・花腐敗病対策 春まきよりも株間を広くし、栽植密度を下げます。 基肥を控え、追肥も基準量(硫安20kg/10a)を守りましょう。 花蕾が見え始めてから2週間以内で収穫となるため、薬剤の使用時期を確認し生育状況に合わせた薬剤を選択しましょう。 ミニトマト ・脇芽の整理 大きくなりすぎたからの整理は茎を傷めたり、大きな傷口を作ることになるので、10～15cm程度の小さいうちにやりましょう。 ・温度、肥培管理 日中27℃、夕方～夜15℃、夜～朝方12℃程度とし、昼夜の寒暖差を付けて管理します。 3段果房開花～着果期は、樹に最も負担のかかる時期です。樹勢を見ながら追肥を行いましょう。 ・病害虫防除 着果後の花弁や枯れて黄変した下位葉には、灰色かび病が付きやすくなります。こまめな換気と防除を行いましょう。 アザミウマ類やオオタバコガ幼虫の発生時期です。果実を食害しますので、ほ場観察に努め、適正に防除しましょう。 だいこん、こかぶ ・軟腐病対策 高温、多湿条件で、軟腐病の発生が助長されます。 エコメイト等の微生物農薬は、多湿条件で散布すると微生物の定着が促進され、効果を発揮しやすくなりますので、だいこんでは降雨後、こかぶではかん水後に散布するようにしましょう。 立茎アスパラガス ・立茎 立茎移行中にかん水は控えめとし、立茎開始から1ヶ月半程度で葉が硬く仕上がれば立茎が完成です。 収穫通路やハウスの天井に届いた葉を刈り、地際から上70cmの下枝を整理し、控えていたかん水量を増やすことで、萌芽を刺激し、夏芽の生育を促しましょう。 ・病害虫防除 灰色かび病の発生に注意し、葉の整理、換気、防除により、まん延を防ぎましょう。 アザミウマ類、ヨトウムシ類の発生時期ですので、発生状況を確認し、適正に防除しましょう。

檜山農業改良普及センター檜山北部支所

TEL 0137-84-5514/FAX0137-84-5596/E-mail hiho-nokai-hokubu.11@pref.hokkaido.lg.jp

URL <http://www.hiyama.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/index.htm>

《今金集落協定参加者 各位》

今金集落の平成26年度収支決算は下記の通りとなりましたのでお伝え致します。

平成26年度 中山間地域等直接支払交付金 収支決算

1.収入

単位:円

項目	事業内容	計画	実績	増減	内訳
交付金	交付金	47,428,905	47,428,905	0	
繰越金	前年度繰越金	3,554,925	3,554,925	0	
合計		50,983,830	50,983,830	0	

2.支出

単位:円

項目	事業内容	計画	実績	増減	内訳・備考
集落の管理活動に係わる報酬等	役員報酬	800,000	800,000	0	代表@30,000×1名 理事@25,000×20名 地区推進委員@15,000×18名
	日当	213,000	213,000	0	理事会 4回 @3,000円
	経理等経費	2,000,000	2,000,000	0	事務委託費としてJA今金町へ
	事務費	11,772	11,772	0	会議お茶 送金手数料
	測量費	0	0	0	協定地団地組替に伴う測量費用 必須取組の農用地保全マップの作成費用
	対象農地の管理対策費	18,034,931	18,034,931	0	対象農地管理者へ管理料として 急傾斜100% 緩傾斜40%以内
小 計		21,059,703	21,059,703	0	
農業生産活動等	水路・農道の清掃	1,608,500	1,608,500	0	各地区単位での取組 必須取組、水路農道の清掃活動等
	農村景観の整備	1,063,500	1,063,500	0	各地区単位での取組 必須取組、集落内施設の清掃活動
小 計		2,672,000	2,672,000	0	
農業生産活動等の体制整備	地区組織強化の取り組み	980,497	980,497	0	各地区単位での取組
	担い手の育成	346,607	346,607	0	各種研修参加
	農畜産物の販促活動	2,844,137	2,844,137	0	PR活動に使用
	農産物栽培試験	550,000	550,000	0	・各種農産物栽培試験 ・緑肥栽培試験
	新規就農者の確保	0	0	0	5カ年継続取組(H23年～H25年 対象者1名) 3年×600千円支給
	ジャガイモシストセンチュウ対策	400,000	400,000	0	5カ年継続取組 人件費助成(検査料軽減)
	生産性向上に向けた圃場整備への取り組み	5,553,450	5,553,450	0	5カ年継続取組 心土破砕、レーザーレベラー作業料助成
	露地野菜安定生産への取組	4,441,590	4,441,590	0	広域連 大根・人参 共選経費(施設利用料)へ助成(20%)
	効率的機械利用構築の取り組み	12,135,846	12,135,846	0	4カ年継続取組 作業委託料助成(5割以内)
小 計		27,252,127	27,252,127	0	
合 計		50,983,830	50,983,830	0	

繰越額	0
-----	---

もっと楽しく! もっと活用しやすく!



未来を生きるためにもっと知ってほしい、
農業のこと、食べ物のこと、いのちのこと。

★藤田先生の
ワハハやさい塾
★JAグループ
ワクワクお仕事探検隊

★教えて! 信子先生
お料理はじめて

★畑図鑑
★藤本先生の
食農マジック

★田んぼは楽園～
生き物たちの物語

★チャレンジ!
食農どきどきクイズ

人気
連載

食農教育
のページ

フードレンジャー
チャグリン

生きる
力を育む
ページ



年3回
別冊付録がつき
ます。自由研究や
課外授業にも
ぴったり!

JAグループの
食農教育をすすめる
子ども雑誌



ちやぐりん

●定価(税込): 5月号 470円

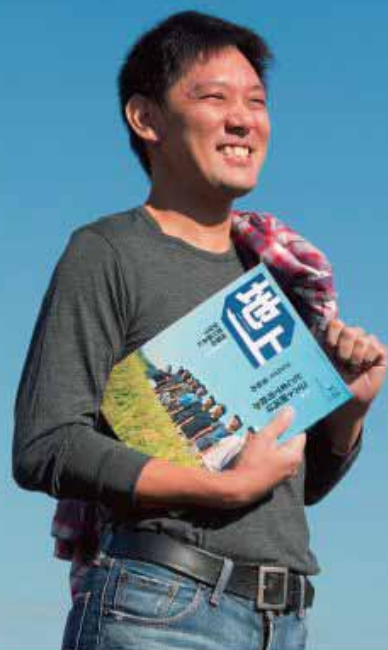
※2014年6月号からは、普通月号 483円、

付録月号(1・4・8) 565円

推薦(公社)日本PTA全国協議会

※タイトル・内容は、変更することがあります。

JAグループ(一社)家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL03-3266-9039 ホームページ <http://www.ienohikari.net>



活躍する農業者は
みんな読んでいる!

読みどころ
1

農業・農政の動きを読み解く

農協改革やTPP情勢、FTA・EPAをめぐる動きなどについて“タイムリーにわかりやすく”伝えます。

読みどころ
2

流通・消費動向を追跡

農畜産物の流通や消費動向のトレンド、6次産業化への動きなど、最新のマーケティング動向を紹介・解説します。

読みどころ
3

JA青年組織を応援

青年組織内の“生の声”をくみ上げ、さまざまな活動の取り組みを紹介。また組織が活性化するためのヒントを提案します。



農業・地域・JAを担う リーダーのための雑誌

□定価(税込) ●普通月号 606円 ●付録月号(4・11月号) 668円

JAグループ(一社)家の光協会

〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11

TEL 03-3266-9039 URL <http://www.ienohikari.net>

年2回、別冊付録付き!

組織基盤強化や農業・農政の理解に役立つ別冊付録。青年組織の学習会テキストとしてご活用ください。



J A広報いまかね 477号 平成27年7月1日発行

◇発行 今金町農業協同組合 ◇住所 〒049-4397 北海道瀬棚郡今金町字今金 141 番地

◇電話 0137-82-0212(直通) FAX 0137-82-0854 ◇編集 営農部 農業経営課 ◇印刷 今金はやし印刷社